

令和２年度（第６４回）  
岩手県教育研究発表会発表資料

体育／保健体育分科会

愛好的態度の形成につながる「体づくり運動」の単元開発

令和３年２月１０日  
岩手大学教職大学院教育学研究科  
授業力開発プログラム  
板井直之

# 愛好的態度の形成につながる「体づくり運動」の単元開発

E1119002 板井 直之

## 要旨

「豊かなスポーツライフの実現」は、体育科の目指す最終目標であり、小学校学習指導要領解説総則編においても「現代的な諸課題に対応し求められる資質・能力」の1つとして示されている。この目標の実現を図るために、運動やスポーツに対する好意的な態度形成は、重要な鍵となる。そこで、本研究は、運動や体育に対する「愛好的態度」の形成につながる「体づくり運動」のあり方を、単元開発とその実践から検証し、明らかにすることとした。高田典衛（1972）が示した「よい体育授業の条件（高田4原則）」を満たす授業並びに高橋健夫（1989）やクルム（1992）が提唱した「体育の具体的目標構造」を実現する「体づくり運動」の単元開発を小学校高学年対象に行った。その結果、「情意目標」の達成並びに体育や「体づくり運動」に対する情意面に有意な変容が認められ、開発単元は、「愛好的態度」の形成につながるという結論が得られた。

## I 緒言

運動、スポーツ以外の余暇活動への興味・関心は拡大し、人々の運動習慣を変化させている。都市化と少子化、時間に追われるような多忙感ある暮らしは、子どもたちから外遊びの機会や時間、仲間と関わる機会を奪っている。こうした影響は、子どもたちの体力低下や生活習慣病への危険性を高め、心身の健康を脅かすのみならず、人間関係の希薄化、遊び中から身に付ける社会性、我慢する心や他者を思いやる心など、生きていくために必要な経験や能力の育成にも暗い影を落としかねない。運動をする子とそうでない子の二極化傾向も懸念されて久しい。北村（2011）は、「基本的動作の未習得」による「運動能力の低下」を指摘し、子どもの体力向上のための取組ハンドブック（2012）が示す新体力テストの結果では、運動能力が高かった昭和60年頃の水準と比較すると依然低い傾向にあることが報告されている。このような現状にある今だからこそ、運動やスポーツの意義や価値、可能性を再認識することが必要である。現在及び将来の心身の健康について考え、「豊かなスポーツライフの実現」を図る「資質・能力」の育成が、子どもたち一人一人に求められている。そして、生涯にわたる「豊かなスポーツライフの実現」を考えたとき、運動や体育が「好きだ、楽しい」という「愛好的態度」を育み、運動やスポーツに対する「志向性、親和性」につなげることは、重要な鍵となる。なお、「体づくり運動」に関する先行研究については、調査研究や教材開発、方法論や指導法など多岐にわたるものの、「愛好的態度」の形成を目的に、「体づくり運動」の単元開発を行ったものは認められず、「体づくり運動」の実践研究においても、小学校高学年を対象としたものは限られる。

## II 研究の目的

そこで、研究の目的を「運動や体育に対する『愛好的態度』の形成につながる『体づくり運動』のあり方を、単元開発とその実践から検証し、明らかにすること」とした。

### Ⅲ 研究の方法

研究の目的を明らかにするために、2つの課題を設定し、その解決を図っていく。

課題 1. 「愛好的態度」の明確化を図ること並びに「体づくり運動」の単元開発の知見を得ることとし、文献研究により明らかにする。

課題 2. 「愛好的態度」の形成につながる「体づくり運動」の単元を開発することとし、開発単元の実践、結果の分析、検証より明らかにする。

#### 1 課題 1

##### (1) 愛好的態度について

「愛好的態度」は、1977 年学習指導要領に位置付けられた重点目標であり、その後の学習指導要領にも踏襲されてきた体育科の「態度」の根底にある考え方である。そのため、生涯にわたって運動、スポーツに親しむ基となる態度と捉えることができる。高橋ら(2004)は、「生涯スポーツをめざす体育授業においては、情意目標（楽しさの体験）は重視されなければならない」としながらも、「これは常にめざすべき方向目標であつても、中心的な学習内容にはなりえない。（中略）大切なことは、運動への志向性（情意目標）に肯定的に働きかけるような運動技術の学習や社会的行動の学習のあり方であり、これらの内容の位置づけをあいまいにして、楽しさのみを強調することは問題である」と述べている。つまり、「愛好的態度」は、体育授業の具体的目標である「技能、認識、社会的行動」の目標達成により図られる方向目標なのである。そして、高橋（1989）やクルム（1992）が提唱する「体育の具体的目標構造」においても、「技能、認識、社会的行動目標」の3つの目標が相互に関連付きながら達成されることにより、「情意目標」の達成が図られる関係性が示されている（図1）。こうしたことより、「愛好的態度」は、学校体育において、成果が得られる「よい体育授業」を要として形成され则认为られる。「よい体育授業」について、高田（1972）は、「①せいっぱいの運動②わざや力の伸び③なかよく学習④新しい発見」の4つ（高田4原則）を示しており、これは、「体育の具体的目標」とも合致する（図2）。つまり、「高田4原則」を満たすことは、「体育の具体的目標」である「技能、認識、社会的行動目標」を達成することであり、それは同時に、方向目標である「情意目標」の達成へとつながる。そこで、本研究は、この考え方に依拠し、「愛好的態度」の形成を、「『よい体育授業（高田4原則）』の中で、体育科の具体的目標である『技能、認識、社会的行動目標』の3つの目標が達成』され、児童もそれを実感している状態」と定義付けることとした。

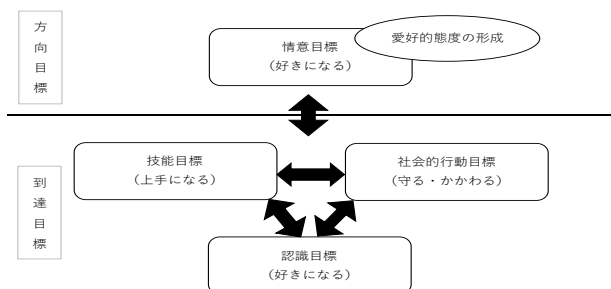


図1 体育の具体的目標の構造（高橋 1989, クルム 1992）を基に作図

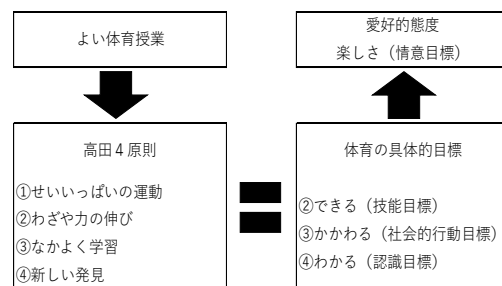


図2 高田4原則と体育の具体的目標と愛好的態度の関係図

##### (2) 体づくり運動について

高学年の「体ほぐしの運動」は、その行い方を理解するとともに、手軽な運動を行い、

体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や仲間の心と体の状態に気付いたり、仲間と豊かに関わり合ったりすることをねらいとしている。「体の動きを高める運動」は、「体の柔らかさを高めるための運動、巧みな動きを高めるための運動、力強い動きを高めるための運動、動きを持続する能力を高めるための運動」で構成され、体力の必要性や体の動きを高めるための運動の行い方を理解するとともに、自己の課題を踏まえ、直接的に体力の向上を図ることをねらいとしている。「体づくり運動」の授業づくりについて、伊藤（2010）らは、「欲求充足機能を前面に取り上げながら、結果として必要充足機能に結びつけること」の肝要さを、大塚（2004, 2005）は、「体力を高める運動にも楽しさや爽快感を引き出す教材づくりの工夫が必要であること」から「体力を高める運動と体ほぐしの運動を有機的に関連付けた教材開発の必要性」を、山本（2001）は、子どもたちに取り組みせる運動について「多様な広がりを持つ『プレイ（おもしろくて夢中にさせる）の連続』」としてあることの重要性」を述べている。これらは、体力を高める目的とともに、児童の興味や情意的側面を重視することが、生涯にわたってスポーツや運動に親しむ素地づくりにつながることを示唆している。また、出井（2017）は、「体づくり運動では、ルールが単純で、全員が未熟ながらもなんとかできる運動を取り上げ、最後まできちんとやること、仲間と応援したり励まし合ったりして頑張り抜くことの大切さを実感させる教材を授業に意図的・意識的に導入すること」の必要性を述べている。「やってみたい」「できそうだ」と思える運動の選定や難易度の設定、児童の実態と教材との適合や仲間とよりよい関わりの中で学習する視点は、重要なポイントと言えよう。こうした要件を満たす単元や授業を構想することが、「愛好的態度」の形成につながると考えられる。そこで、①「よい体育授業（高田4原則）」と「体育の具体的目標」達成につながる視点②学習指導要領の内容の具現化と「体づくり運動」の特性を満たす視点③体づくり運動の先行研究の知見④児童の実態との適合の4点を重視し、単元を開発することとした。

## 2 課題2

### (1) 開発単元について (図3)

全6時間構成の単元である。「体の動きを高める運動」の要素を含んだ「体ほぐしの運動」を選定し、それを単元全体としてなめらかにつなぐ構成にすることで、双方のねらいや内容の達成が図られるよう意図した。1単位時間を3分割し、運動を位置付け、前半は、リズムに乗って多様な動きを高める運動、中盤は、プレイ性に優れた運動、終盤1,2時間目は、グループの仲間との協力・協働が必要な運動、3時間目以降は、身に付けたい力に合わせ、目的的に運動に取り組む「スキルupタイム」を位置付けた。運動（教材）の選定は、必要とされる力が効果的に身に付く運動、興

| 体ほぐしの運動・体の動きを高める運動 |                                |                   |                       |                 |                 |                 |
|--------------------|--------------------------------|-------------------|-----------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 単元                 | 1                              | 2                 | 3                     | 4               | 5               | 6               |
| 時                  | 0                              | 5                 | 10                    | 15              | 20              | 25              |
| 導入                 | オリエンテーション<br>単元・学習の流れ<br>目的・目標 | 課題・本時の流れの確認       | 課題・本時の流れの確認           | 課題・本時の流れの確認     | 課題・本時の流れの確認     | 課題・本時の流れの確認     |
| 展開                 | バレーボール<br>（個人・全体）              | バレーボール<br>（個人・全体） | あなただけのとき<br>（ペア・グループ） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） |
| 10                 | バレーボール<br>（個人・全体）              | バレーボール<br>（個人・全体） | あなただけのとき<br>（ペア・グループ） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） |
| 15                 | バレーボール<br>（個人・全体）              | バレーボール<br>（個人・全体） | あなただけのとき<br>（ペア・グループ） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） |
| 20                 | バレーボール<br>（個人・全体）              | バレーボール<br>（個人・全体） | あなただけのとき<br>（ペア・グループ） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） |
| 25                 | バレーボール<br>（個人・全体）              | バレーボール<br>（個人・全体） | あなただけのとき<br>（ペア・グループ） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） |
| 30                 | バレーボール<br>（個人・全体）              | バレーボール<br>（個人・全体） | あなただけのとき<br>（ペア・グループ） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） |
| 35                 | バレーボール<br>（個人・全体）              | バレーボール<br>（個人・全体） | あなただけのとき<br>（ペア・グループ） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） |
| 40                 | バレーボール<br>（個人・全体）              | バレーボール<br>（個人・全体） | あなただけのとき<br>（ペア・グループ） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） |
| 45                 | バレーボール<br>（個人・全体）              | バレーボール<br>（個人・全体） | あなただけのとき<br>（ペア・グループ） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） | リズムジャンプ<br>（個人） |
| まとめ                | ①（ノート）                         | ②（ノート）            | ③（ノート）                | ④（ノート）          | ⑤（ノート）          | ⑥（ノート）          |
| 振り返り               | ①（ノート）                         | ②（ノート）            | ③（ノート）                | ④（ノート）          | ⑤（ノート）          | ⑥（ノート）          |
| 評価                 | ①（ノート）                         | ②（ノート）            | ③（ノート）                | ④（ノート）          | ⑤（ノート）          | ⑥（ノート）          |
| 学習指導要領             | ①（ノート）                         | ②（ノート）            | ③（ノート）                | ④（ノート）          | ⑤（ノート）          | ⑥（ノート）          |
| 学習指導要領             | ①（ノート）                         | ②（ノート）            | ③（ノート）                | ④（ノート）          | ⑤（ノート）          | ⑥（ノート）          |
| 学習指導要領             | ①（ノート）                         | ②（ノート）            | ③（ノート）                | ④（ノート）          | ⑤（ノート）          | ⑥（ノート）          |
| 学習指導要領             | ①（ノート）                         | ②（ノート）            | ③（ノート）                | ④（ノート）          | ⑤（ノート）          | ⑥（ノート）          |

図3 開発単元 第5学年「体づくり運動」

(2) 体育科の具体的目標達成について

表 1 選定した運動（教材）一覧

|           | 運動名        | 説明                                                                                                     | 体つきの運動                                                                                                                                                   |        |       |        |      | その他の観点 |      |        |       |                  |
|-----------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|--------|------|--------|------|--------|-------|------------------|
|           |            |                                                                                                        | 体験くし                                                                                                                                                     | 動きを促める |       |        | プレイ性 | 課題克服   | 日常生活 | 親児との交流 | 職業の活用 | 形態               |
|           |            |                                                                                                        | 度らさか                                                                                                                                                     | 巧みな動き  | 力強い動き | 身体能力向上 |      |        |      |        |       |                  |
| 共通の運動     | バシュート      | 両手は膝の上で、足はスクワット～ランのバシュートと肩を合わせ、肘が外れ、３～４人で１グループでの対戦からスタートし、最終走者がゴールまでグルーブが勝となる。                         | ○                                                                                                                                                        |        |       |        | ○    |        |      |        |       | 一斉               |
|           | 心を１つに      | 「目標を落とさない」「棒が倒れない」ように友達と位置を入れ替わる運動。                                                                    | ○                                                                                                                                                        |        |       |        |      | ○      |      |        |       | ペア<br>グルーブ       |
|           | シンドロ長縄     | 跳ぶ順番を決め、短縄でも長縄でも自由に工夫するうちに、全員が運動に興味ができるよう工夫。                                                           | ○                                                                                                                                                        |        |       |        | ○    |        | ○    |        |       | グルーブ             |
|           | あんただここ     | 道場「あんたがたどこそこ」に合わせてスタンプをする。左足のスタンプを緑色の、「右」のスタンプを、紫にスタンプ。最後が「うさぎかきけ」の歌で終わりがけ（得意げの工夫）。                    | ○                                                                                                                                                        |        |       |        |      |        |      |        |       | ペア<br>グルーブ<br>一斉 |
|           | Hipおにごっこ   | おしえて移動しながら、おにごっこを行う運動（組みあわせる運動）。                                                                       |                                                                                                                                                          |        |       |        |      |        |      |        |       | 一斉               |
|           | オセロゲーム     | 色の異なる２色の紙皿を、時間をあるまで、チームの色に順次貼る。                                                                        |                                                                                                                                                          |        | ○     |        |      | ○      | ○    |        |       | 一斉               |
|           | リズムジャンプ    | １本の線（ライン）をラシーに見立て、曲のリズムに合わせて、様々なステップやリズムが移る。                                                           |                                                                                                                                                          |        |       |        |      |        |      |        | ○     | 一斉               |
| スキルアップタイム | ７（ペーン）ボールズ | ４チームで対戦、中央にある７つのボールを陣地に運ぶゲーム。中央からボールが奪いながら、相手の陣地からボールを奪う。１人がボールを運んだら、次の人にかすり状の形をして、最終的に、多人数を運んだチームが勝利。 |                                                                                                                                                          |        |       | ○      | ○    | ○      | ○    |        |       | 一斉               |
|           | シリーズはやな身体！ | ボールを使ったり体のまわりをかき取る運動、ヘアで行進は、できるだけ遅れた距離で実施できることが練習性の向上につながる。                                            | ○                                                                                                                                                        |        |       |        |      |        |      |        |       | 個人<br>ペア         |
|           | ○○ストラク     | 目的意識がわたり、むろ式空間を通す。直進とよみにはいるという、運動のいろいろな要素がある。助け合いを高める。単元最後は、チームでの対戦形式で実施。                              |                                                                                                                                                          |        | ○     |        |      | ○      | ○    |        |       | 個人<br>一斉         |
|           | 助太スベッシュト   | 時間を決めて動木の下に下がる。動木の下で下がらないまま上まで登れる。動木の力を助けて素早く脱出する（など）。運動がいかに変わるかなど、力強い動きを高める。                          |                                                                                                                                                          |        |       | ○      |      |        |      |        |       | 個人               |
|           | ○○○○ステージ   | 壁の上に、高さの異なる３段階の高さの壁（階段）をそれぞれ１回ずつのものを、それぞれを登る。                                                          |                                                                                                                                                          |        |       | ○      | ○    |        | ○    | ○      |       | 個人<br>グルーブ       |
| ポリエーション   |            |                                                                                                        | 単元の流れ、「体つきの運動」が単元で大切にしてほしいキーワード（矢付き・文庫）、高めた４つの力を確認。また、体育（スポーツ）や運動の意義について考える時間を確保し、子どもたちの目的意識や必要感、意欲の喚起を図った。以降の効果的なマネジメントにつながるよう、児童と必要事項を共有し、学習規律の確認を行った。 |        |       |        |      |        |      |        |       |                  |
| 単元のまとめ    |            |                                                                                                        | 児童の発着をつなぎながら、単元を通して、大切にしてきたキーワード、身に付いた力、体育（スポーツ）や運動の意義とともに、子どもたちのがんばりや成長など、変化を価値付けた。                                                                     |        |       |        |      |        |      |        |       |                  |

・対象 盛岡市内 A 小学校  
第 5 学年 1 学級

・ 期日 2020 年 4 月 23 日 (木)  
～4 月 28 日 (火)

・単元名 体づくり運動 6 時間

## ①期間観察記録法（高橋 1994）②形

⑤アンケート⑥テキストマイニング  
(頻出語)を用い、総合的に検証する  
こととした。

## 1 検証授業

「スキル up タイム」の説明が必要とされた 3 時間目にマネジメント場面の増大，運動学習場面の減少がみられたものの，運動学習が中心となる 4～6 時間目の運動学習場面は 50%以上であり，全 6 時間の平均でも，マネジメント場面 18%，運動学習場面 48%であった。

3 時間目のマネジメント場面の増大に伴う運動学習場面の減少が、「成果」の落ち込みとして表れていたものの、「意欲・関心、学び方、協力、成果、全体評価」すべてにおいて、単元全体を通じて、高い得点と評定で推移した。また、単元後半に向け、授業評価の向上が認められており、単元開始時オール「4」の評定は、単元最終時に、ほぼオール「5」に向上した。

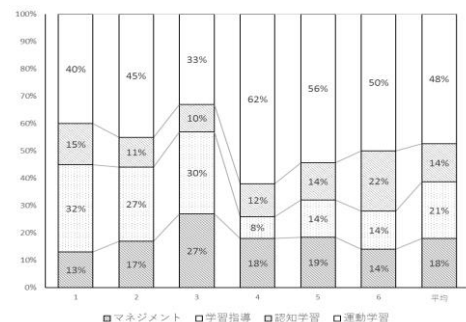


図 4 期間観察記録法

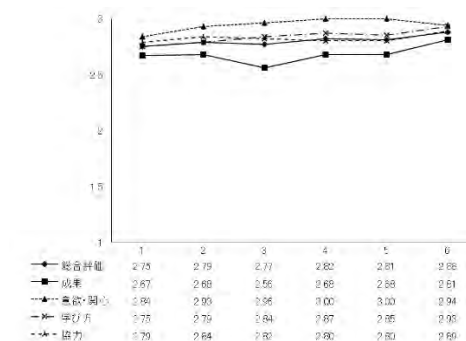


図 5 形成的授業評価

### (3) 歩数計の記録について

各児童全 6 回の記録のうち、最低値と最高値を除いた 4 時間分を有効値とし、学級全員の歩数を平均すると、1 単位時間「2548 歩」であった。「小学 5・6 年生男女の平均身長は、139.6 cm（文部科学省学校保健統計調査令和元年速報値 教育技術 2020）、歩く歩幅の目安は、「身長×0.45」と言われており（「OMROM」調べ）、ここから平均移動距離を求めると、1 単位時間およそ 1600m となる。20m シャトルランに換算すると、80 回以上と見立てることができる（標準誤差は「545.75」であり、誤差の範囲と解釈できる）。

## 2 体育科の具体的目標（診断的・総括的授業評価（因子得点を t 検定）表 2）

### (1) 技能目標の達成について

「できる（技能目標）」の因子全体で有意差（ $t(27)=3.674$ ,  $p<.01$ ）が認められ、単元後のアンケートでも「体づくり運動が得意である」の項目から有意差（ $p<.01$ ）が認められた。ルーブリックの有効性を 23 名（82%）の児童が実感していた。

### (2) 認識目標の達成について

「まなぶ（認識目標）」の因子全体で有意差（ $t(27)=4.302$ ,  $p<.01$ ）が認められ、アンケートの「できる方法を考えながら学習することができたか」の項目では、25 名（89%）が肯定的に回答した。

### (3) 社会的行動目標の達成について

「まもる（社会的行動目標）」の因子全体で有意差（ $t(27)=3.136$ ,  $p<.01$ ）が認められ、アンケートでは、23 名（82%）が「友達とよりよく関わりながら学習することができた」と肯定的に回答した。

### (4) 情意目標の達成と総合評価について

各項目で有意な差は認められなかったものの、「たのしむ（情意目標）」の因子全体として、有意差（ $t(27)=3.057$ ,  $p<.01$ ）が認められ、総合評価においても、単元前後で有意差（ $t(27)=5.565$ ,  $p<.01$ ）が認められた。

表 2 診断的・総括的授業評価

| 項目名           | 単元前<br>平均得点 | 単元後<br>平均得点 |    |
|---------------|-------------|-------------|----|
| Q 2 心理的充足     | 2.857       | 2.964       |    |
| Q 7 楽しく勉強     | 2.821       | 2.929       |    |
| Q11 明るい雰囲気    | 2.750       | 2.821       |    |
| Q13 丈夫な体      | 2.857       | 2.893       |    |
| Q17 精一杯の運動    | 2.857       | 2.964       |    |
| たのしむ（情意目標）    | 14.143      | 14.571      | ** |
| Q 6 授業前の気持ち   | 2.571       | 2.679       |    |
| Q 9 運動有能感     | 2.214       | 2.250       |    |
| Q10 自発的運動     | 2.643       | 2.893       | *  |
| Q15 いろんな運動の上達 | 2.607       | 2.893       | ** |
| Q19 できる自信     | 2.357       | 2.679       | *  |
| できる（運動目標）     | 12.393      | 13.393      | ** |
| Q 3 工夫して勉強    | 2.679       | 2.786       |    |
| Q 5 めあてをもつ    | 2.393       | 2.714       | *  |
| Q 8 他人を参考     | 2.643       | 2.821       |    |
| Q12 時間外練習     | 2.000       | 2.607       | ** |
| Q16 友人・先生の励まし | 2.321       | 2.679       | ** |
| まなぶ（認識目標）     | 12.036      | 13.607      | ** |
| Q 1 先生の話聞く    | 2.786       | 2.929       |    |
| Q 4 自分勝手      | 2.643       | 2.893       | *  |
| Q14 勝負を認める    | 2.750       | 2.929       | *  |
| Q18 約束事を守る    | 2.893       | 3.000       |    |
| Q20 ルールを守る    | 2.929       | 3.000       |    |
| まもる（社会的行動目標）  | 14.000      | 14.750      | ** |
| 合計得点          | 52.571      | 56.321      | ** |

(\*:  $p<0.05$  \*\*:  $p<0.01$ )

## 3 児童の変容

### (1) アンケートからみる意識的な変容について

サイン検定をおこなったところ、「体育が好き（ $p<.05$ ）」「体育が楽しい（ $p<.01$ ）」「体づくり運動が好き（ $p<.01$ ）」「体づくり運動が得意である（ $p<.01$ ）」の 4 項目で有意差が認められた（表 3）。

### (2) 記述（感想）からみる変容について

「テキストマイニング（頻出語）」の特徴と変容から質的分析を試みた。単元 1 時間目は、「楽しい、嬉しい」など「情意」に関係する言葉と「チームで教える、声を掛け合う、友達と力を合わせる」など、「関わり（社会的行動）」を意味する言葉が多く表出された。3 時間目も「関わり」に関係する言葉は、引き続き表出したが、「楽しい」という言葉はな

表 3 アンケートからみる意識的な変容一覧

|           | 前単元比 低 (▲) | 前単元比 高 (△) | P値   |    |
|-----------|------------|------------|------|----|
| 体育が好き     | 1          | 7          | .035 | *  |
| 体育が楽しい    | 1          | 11         | .003 | ** |
| 体づくり運動が好き | 0          | 10         | .000 | ** |
| 体づくり運動が得意 | 1          | 11         | .003 | ** |

\*:  $p<.05$  \*\*:  $p<.01$

く、代わりに「考える、気付く、わかる、コツ、大切、思う」など、「できるためにどうすればよいか」を思考する言葉が多く表出された。「B・A・S」の「ループリック」を示す記号、「嬉しい」という言葉の表出も認められた。5時間目は、3時間目同様、

「関わり」とともに「できるためにどうすればよいか、何が必要か」という「思考・判断」に関する言葉が中心に表出されていた。単元後は、表出された言葉とその関係性から「教える、聞く、分かることを通して学習できたこと」「身に付けた動きや協力することで得た学びを（今後に）生かすこと」「グループや友達とたくさん練習を

して（できることが）増えたこと」など、「学び」や「成長」の自覚化が見て取れた。また、「いろいろな運動ができて嬉しかったこと」「体育が楽しかったこと」といった達成感や満足感、情意面に関係する好意的な言葉が再び大きく表出された（図6）。そして、4回のテキストマイニング（頻出語）に共通する言葉として、「難しい、簡単」という難易度を表す言葉が表出された。

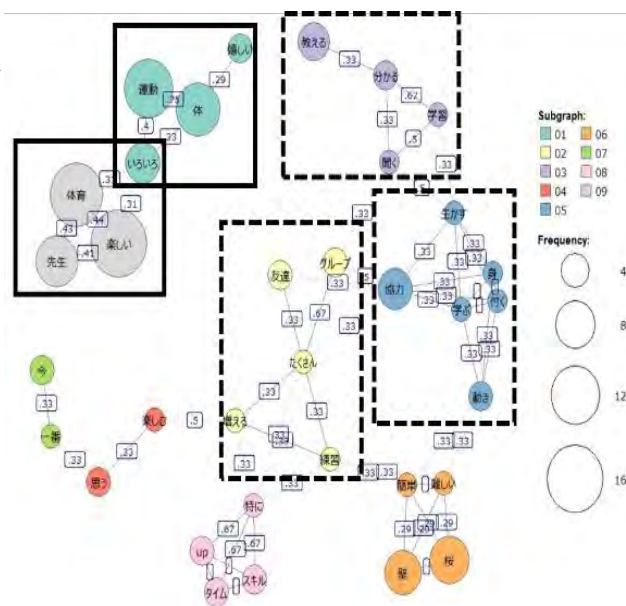


図6 単元終了後の頻出語

## V 研究の考察

### 1 せいっぱいの運動

期間観察記録法の結果より、効率的なマネジメントと潤沢な運動量が確保されていたと考えられる。また、歩数計の結果を合わせると、運動学習時間だけでなく、一人一人にも十分な運動量が確保されていたと解釈することができ、本開発単元は、「よい体育授業（高田4原則）」の「せいっぱいの運動」を満たしていたと考えられる。

### 2 技能目標の達成とわざや力の伸び

診断的・総括的授業評価の「できる（運動目標）」の結果並びにアンケートの「体づくり運動が得意である」の結果より、児童は、「ループリック」に示された運動達成を目標に、多様な運動に自発的かつ主体的に取り組み、運動達成や体の動きが高まった実感を得たことにより、できる自信（運動有能感）を高めたと考えられる。形成的授業評価に認められた6時間目の「成果」の高評価は、それを裏付けるものといえる。本開発単元は、「わざや力の伸び」、「技能目標」の達成につながる単元であったと捉えることができる。テキストマイニング（頻出語）の「難易度」を示す言葉の表出より、技能習得を左右する「難易度」は、児童にとって重要な関心事であり、児童の実態に適した運動（教材）の選定、難易度の設定が、単元構想の特に重要なポイントとなることが示唆される。

### 3 認識目標の達成と新しい発見

形成的授業評価の「学び方」、診断的・総括的授業評価の「まなぶ（認識目標）」結果より、児童は、友達や教師のアドバイスから学び、時間外の練習を含め、めあてをもち、目的的に学習に取り組んでいたと考えられる。アンケートの「できる方法を考えながら学習

することができたか」の結果やテキストマイニング（頻出語）の結果からも、児童は、常に、運動達成の方法について、考えながら学習していたことがわかる。本開発単元は、「新しい発見」並びに「認識目標」の達成につながる単元であったと考えることができる。

#### 4 社会的行動目標の達成となかよく学習

形成的授業評価の「協力」並びに診断的・総括的授業評価の「まもる（社会的行動目標）」の結果より、児童は、よい交流と協働的な関わりの中で、学び合い、高め合い、なかよく学習に取り組んでいたと考えられる。実際の授業においても、互いにアドバイスを送ったり、励まし合ったりする姿が見られた。アンケートの「友達とよりよく関わることができたか」の結果からも、児童自身が、よりよい関わりを実感しており、本開発単元は、「なかよく学習」並びに「社会的行動目標」の達成につながる単元であったと捉えることができる。

#### 5 情意目標の達成と愛好的態度の形成

診断的・総括的授業評価の「たのしむ（情意目標）」の結果より、「技能、認識、社会的行動目標の達成」が、「方向目標である情意目標の達成」につながっていたことが明らかとなった。「体育が好き」「体育が楽しい」「体づくり運動が好き」の情意面の有意な変容からも、開発単元は、児童にとって、「愛好的態度」の形成につながるものであったと捉えることができる。また、診断的・総括的授業評価の総合評価より、本開発単元は、児童が大きく変容する、成果が得られる単元であったことも認められた。テキストマイニング（頻出語）の一連の変容から捉えた「愛好的態度」の形成については、「楽しさ、興味・関心」をスタートに、「技能習得への没頭」を経由し、その「出来や伸び、成長の喜びや達成感を自覚」することで、「好き、楽しい」という「愛好的態度」が形成されるのではないかと示唆される。

#### 6 まとめの考察

このように、本開発単元は、「よい体育授業（高田4原則）」を満たし、「体育の具体的目標」を達成し、方向目標である「情意目標」の達成へも有意な変容を生じさせるものであり、成果が得られる単元であったと捉えることができる。また、児童の体育や「体づくり運動」に対する情意面の変容においても、その高まりが認められており、開発単元は、「愛好的態度」の形成につながる単元であったと考えることができる。また、体育や運動に対する「愛好的態度」は、技能の習得（運動達成）と大きく関係する。児童の実態を捉え、適切な運動の選定と的確な難易度の設定が、単元を開発する際に、特に重要であると考えられる。そして、「愛好的態度」の形成については、単元最初の「楽しさ、興味・関心」をスタートに、技能習得への「没頭」を経由し、単元終了時に、その「出来や伸び、達成の喜びや学びを自覚」することで形成されるのではないかと示唆された。

### Ⅵ 研究のまとめ

将来や生涯にわたる運動への「志向性」や「親和性」，「豊かなスポーツライフ」を実現する基となる「愛好的態度」の形成につながる小学校高学年「体づくり運動」単元の開発の視点として、以下の知見が得られた。

- (1) 「体の動きを高める運動」を要素に含む「体ほぐしの運動」を選定する。
- (2) 「身に付けさせたい力が効果的に身に付く運動か、興味・関心・意欲が持続す

る運動か、仲間との協力・協働が必要な運動か、プレイ性のある運動か、課題克服につながる運動か」の5点に留意し、運動（教材）を選定する。

- (3) 単元全体として「体ほぐしの運動」と「体の動きを高める運動」をなめらかにつなぐよう構成する。
- (4) 児童の実態に合った的確な難易度やループリックを設定し、主体的かつ目的的に運動に取り組む時間を確保する。
- (5) 「愛好的態度」は、「楽しさ、興味・関心」をスタートに、技能習得への「没頭」を経由し、「できた喜びや達成感、有能感を自覚する」ことで形成されることが示唆された。

体育授業では、主体となる学習者の実態把握をスタートに、よりよい関わりと学び合いの中で「できる（技能習得）」を保障するために、最適な手段を考え、アプローチすることが重要となる。その上で、主体的に学習に取り組む態度を育み、高い意欲を持続させながら、運動や体育の楽しさ、技能習得の喜びや有能感を積み重ねることが、「愛好的態度」の形成につながる。今後は、本開発単元への系統的なつながりを踏まえた低学年・中学年の「体づくり運動」の単元開発を行うことを通して、「愛好的態度」の形成を体系的、系統的、継続的に育むことに取り組んでいきたい。

## 文献・参考資料等

- ・Crum, B (1992) The critical-constructive movement socialization concept. International Journal of Physical Education:19, pp.9-17.
- ・出井雄二 (2017) 体育科教育 11月号 特集 体づくり運動の未来図を描く。子どもの体力の実相を運動有能感との関係から読み解く。大修館書店. pp.18-22.
- ・長谷川悦示・高橋健夫ほか (1995) 小学校体育授業の形成的評価票及び診断基準作成の試み。スポーツ研究 14 (2), pp.91-101.
- ・伊藤暢浩・岡野昇・山本俊彦・加納岳拓 (2010) 小学校体育における「体力を高める運動」の教材開発。三重大学教育学部研究紀要 61, pp.155-166.
- ・岩手体育学習会著 (2019) 『体づくり運動ベスト100』。明治図書。
- ・北村佳史 (2011) 小学校体育科における体づくり運動領域の「多様な動きをつくる運動」の（教科内容）に関する実践的研究。滋賀大学大学院教育学研究科論文集 14, pp.117-127.
- ・教育技術 4/5月号 (2020) 小学5・6年生の平均身長・平均体重ほか（文部科学省 学校保健統計調査 令和元年・速報値）。<https://kyoiku.sho.jp/43370/>. 2020.6.9閲覧。
- ・文部科学省 (2012) 子どもの体方向上のための取組ハンドブック。平成24年3月。pp.8-12.
- ・文部科学省 (2012) 学校体育実技指導資料。第7集。体づくり運動—授業の考え方と進め方—（改訂版）。
- ・文部科学省 (2017) 小学校学習指導要領解説総則編（平成29年告示）平成29年3月。pp.52-53.
- ・文部科学省 (2017) 小学校学習指導要領解説体育編（平成29年告示）平成29年7月。pp.5-11, p.17, pp.112-123.
- ・大塚隆 (2004) 「体づくり運動」の教材研究—「体ほぐしの運動」と「体力を高める運動」に関する意識調査—。東海大学紀要体育学部 34, p.17.
- ・大塚隆 (2005) 「体づくり運動」の教材研究（2）—「体ほぐしの運動」と「体力を高める運動」の関連性について—。東海大学紀要体育学部 35, p.26.
- ・OMRONよくある質問。[https://www.faq.healthcare.omron.co.jp/faq/show/4195?site\\_domain=jp](https://www.faq.healthcare.omron.co.jp/faq/show/4195?site_domain=jp). 2020.6.9閲覧。
- ・高田典衛 (1972) 『授業としての体育』。明治図書。pp.126-131.
- ・高田俊也・岡沢祥訓・高橋健夫 (2000) 態度測定による体育授業評価法の作成。スポーツ教育学研究 20 (1), pp.31-40.
- ・高橋健夫 (1989) 『新しい体育の授業研究』。大修館書店。pp.11-14.
- ・高橋健夫編著 (2003) 『体育授業を観察評価する 授業改善のためのオーセンティック・アセスメント』。昭和出版。pp.8-11, 12-15, 36-39.
- ・高橋健夫編著 (2004) 『体育の授業創る』。大修館書店。pp.12-14.
- ・高橋健夫・長谷川悦示ほか (1994) 体育授業の「形成的評価法」作成の試み。体育学研究 39 (1), pp.29-37.
- ・高橋健夫・岡出美則・友添秀則・岩田靖（編）(2010) 『新版 体育科教育学入門』。大修館書店。pp.30-38, 75-81.
- ・田中敏・中野博幸 (2004) 『実践データ解析法クイックデータアナリシス』。新曜社。pp.24-25, pp101-103.
- ・山本俊彦 (2001) 「かかわり」を大切にしたい新しい体育授業。松田恵示・山本俊彦編「かかわり」を大切にしたい小学校体育の365日。教育出版。p.20.

岩手大学大学院教育学研究科（令和元年度入学）

板 井 直 之

所属プログラム

授業力開発プログラム

担当教員

岩手大学大学院教育学研究科

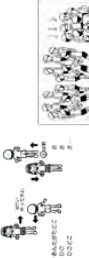
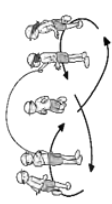
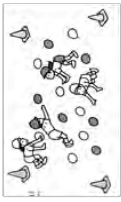
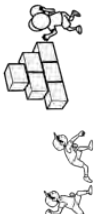
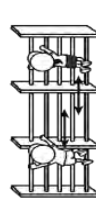
准 教 授 清 水 将

特命教授 多田 英史

特命教授 田村 忠

所属校

盛岡市立桜城小学校

| 第5学年 A 体づくり運動（ア 体ほぐしの運動 イ 体の動きを高める運動） |                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                          |
|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 体ほぐしの運動・体の動きを高める運動                    |                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                          |
| 単元                                    | 1                                                                                                                                                                                                                     | 2                                                                                                                                                                                                         | 3                                                                                                                                                                                                                                             | 4                                                                                                                                                                                                           | 5                                                                                                                                                                                                                         | 6                                                                                                        |
| 時                                     | 1                                                                                                                                                                                                                     | 2                                                                                                                                                                                                         | 3                                                                                                                                                                                                                                             | 4                                                                                                                                                                                                           | 5                                                                                                                                                                                                                         | 6                                                                                                        |
| 導入                                    | オリエンテーション<br>単元・学習の流れ<br>目的・目標                                                                                                                                                                                        | 課題・本時の流れの確認<br>                                                                                                        | 課題・本時の流れの確認<br>                                                                                                                                            | 課題・本時の流れの確認<br>                                                                                                           | 課題・本時の流れの確認<br>                                                                                                                          | 課題・本時の流れの確認<br>         |
| 学習の流れ                                 | バシユート走（グループ・全体）<br><br>心拍1つに（運動・静）（ペア・グループ）<br> | Hip ホップ<br><br>H I P おにごっこ（全体）<br> | あんだがたごこま（ペア・グループ）<br><br>オセロゲーム（全体）<br>ループリック・運動説明<br>SUT（スキップタイム）<br> | リズムジャンプ（個人）<br><br>オセロゲーム（グループ・全体）<br> | リズムジャンプ（個人）あんだがたごこま（運動）<br><br>7（セブン）ボールズ（グループ・全体）<br> | 7（セブン）ボールズ（グループ・全体）<br> |
| まとめ                                   | シンクロ長縄（グループ）<br>学習カードへの記入の仕方<br>振り回り・片付け                                                                                                                                                                              | シンクロ長縄（グループ）<br>振り回り・片付け                                                                                                                                                                                  | シリーズ：しなやかな身体<br>振り回り・片付け                                                                                                                                                                                                                      | 〇〇ストラック<br>振り回り・片付け                                                                                                                                                                                         | 肋木スベシヤリスト<br>振り回り・片付け                                                                                                                                                                                                     | 〇〇の壁<br>振り回り・片付け                                                                                         |
| 知識                                    | ①（ノート）                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                               | ②（観察）〇                                                                                                                                                                                                      | ②（観察）☆                                                                                                                                                                                                                    | ②（観察・ノート）                                                                                                |
| 評価                                    | ①②（観察・ノート）<br>②ノート                                                                                                                                                                                                    | ①②（観察・ノート）<br>②ノート                                                                                                                                                                                        | ①③（観察・ノート）                                                                                                                                                                                                                                    | ①②（観察・ノート）☆                                                                                                                                                                                                 | ①②（観察・ノート）〇                                                                                                                                                                                                               | ④（ノート）                                                                                                   |

|           | 運動名           | 説明                                                                                                       | 体づくり運動                                                                                                                                                  |        |       |       | その他の観点    |      |      |     |       |       |              |
|-----------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|-------|-----------|------|------|-----|-------|-------|--------------|
|           |               |                                                                                                          | 体ほぐし                                                                                                                                                    | 動きを高める |       |       |           | プレイ性 | 課題克服 | 日常化 | 教員の工夫 | 音楽の活用 | 形態           |
|           |               |                                                                                                          |                                                                                                                                                         | 柔らかさ   | 巧みな動き | 力強い動き | 動きを維持する能力 |      |      |     |       |       |              |
| 共通の運動     | バシュート走        | 「追い抜き走」とスピードスケートの「バシュート」を組み合わせ、教材化。3～4人で1グループとなり、対面からスタートし、最終走者が速くゴールしたグループが勝ちとなる。                       | ○                                                                                                                                                       |        |       |       | ○         |      |      |     |       |       | 一斉           |
|           | 心を1つに         | 「風船を落とさない(棒が倒れない)」うちに友達と位置を入れ替わる運動。                                                                      | ○                                                                                                                                                       |        | ○     |       |           |      | ○    |     |       |       | ペアグループ       |
|           | シンクロ長縄        | 跳ぶ順番を決め、回し手も長縄を跳ぶように工夫することで、全員が運動に参加できるよう工夫。                                                             | ○                                                                                                                                                       |        | ○     |       | ○         |      |      | ○   |       |       | グループ         |
|           | あんたがたどこさ      | 童謡「あんたがたどこさ」に合わせてステップをする。左右のステップを繰り返し、「さ」のタイミングで、前にステップ。最後の「ちよっとかくせ」の歌詞でしゃがみこむ(昔遊びの工夫)。                  | ○                                                                                                                                                       |        | ○     |       | ○         |      | ○    | ○   |       | ○     | ペアグループ<br>一斉 |
|           | Hip<br>おにごっこ  | おしりで移動しながら、おにごっこを行う運動(組み合わせの運動)。                                                                         | ○                                                                                                                                                       |        | ○     |       |           |      |      |     |       |       | 一斉           |
|           | オセロゲーム        | 色の異なる2色の紙皿を、時間が来るまで、チームの色に返し続ける。                                                                         |                                                                                                                                                         |        | ○     |       | ○         | ○    |      |     | ○     |       | 一斉           |
|           | リズムジャンプ       | 1本の線(ライン)をラダーに見立て、曲のリズムに合わせて、様々なステップをしながら移動。                                                             |                                                                                                                                                         |        | ○     |       |           |      |      |     |       | ○     | 一斉           |
|           | 7(セブン)ボールズ    | 4チームで対戦。中央にある7つのボールを陣地に運ぶゲーム。中央からボールが無くなった、相手の陣地からボールを奪う。1人がボールを選んだら、次の人にタッチするルー形式。最終的に、多くボールを選んだチームが勝利。 |                                                                                                                                                         |        | ○     |       | ○         | ○    | ○    |     |       |       | 一斉           |
| スキルアップタイム | シリーズ「しなやかな身体」 | ボールを使った「体の柔らかさ」を高める運動。ペアで行う際は、できるだけ離れた距離で実施できることが柔軟性の向上につながる。                                            | ○                                                                                                                                                       | ○      |       |       |           |      |      |     |       |       | 個人<br>ペア     |
|           | ○○ストラック       | 「的を直接ねらう、ねらった空間を通す、宣言したまどに当てる」など、運動の行い方を変えながら、投げの力を高める。単元最後は、チームでの対戦形式で実施。                               |                                                                                                                                                         |        | ○     |       |           | ○    | ○    |     | ○     |       | 個人<br>一斉     |
|           | 肋木スペシャリスト     | 「時間を決めて肋木にぶら下がる。肋木にぶら下がりが足で足を上げて耐える。肋木を腕の力で横に移動する」など、運動の行い方を変えながら、力強い動きを高める。                             |                                                                                                                                                         |        |       | ○     |           |      |      |     |       |       | 個人           |
|           | ○○の壁          | ステージ上に、高さの異なる3段階の壁(跳び箱にマットをかぶせたもの)をつくり、それをよじ登る。                                                          |                                                                                                                                                         |        | ○     | ○     |           | ○    | ○    |     |       |       | 個人<br>グループ   |
| オリエンテーション |               |                                                                                                          | 単元の流れ、「体づくり運動」の単元で大切にしたいキーワード(気付き・交流)、高めたい4つの力を確認。また、体育(スポーツ)や運動の意義について考える時間を確保し、子どもたちの目的意識や必要感、意欲の醸成を図った。以降の効果的なマネジメントにつながるよう、児童と必要事項を共有し、学習規律の確認を行った。 |        |       |       |           |      |      |     |       |       |              |
| 単元のまとめ    |               |                                                                                                          | 児童の発言をつなぎながら、単元を通して、大切にできたキーワード、身に付いた力、体育(スポーツ)や運動の意義とともに、子どもたちのがんばりや成長など、変容を価値付けた。                                                                     |        |       |       |           |      |      |     |       |       |              |

## 第5学年 体育科学習指導案

日 時 令和2年4月23日(木)～令和2年5月1日(金)  
場 所 盛岡市立桜城小学校 体育館  
学 年 5年2組 男子13名 女子16名 計29名  
指導者 板井 直之

### 1 単元名 A 体づくり運動「ア 体ほぐしの運動 イ 体の動きを高める運動」

### 2 単元の目標

学習指導要領に基づき、本単元の目標を以下のように設定する。

- (1) 体づくり運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その特性に応じた基本的な運動(技能)を身に付けることができるようにする。

【知識及び技能】

- (2) 自己やグループの運動の課題を見付け、その解決のための方法や活動、動きかや身体の使い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養うことができるようにする。

【思考力・判断力・表現力等】

- (3) 体づくり運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動する態度を養うことができるようにする。

【学びに向かう力・人間性等】

### 3 指導にあたって

#### (1)「体づくり運動」領域の特性

高学年の「体づくり運動」は、「体ほぐしの運動」と自「体の動きを高める運動」から構成されている。

「体ほぐしの運動」では、運動をすると心が軽くなったり、体の力を抜くとリラックスできたり、体の動かし方によって気持ちも異なることなど、心と体との関係に気付くこと。運動を通して自他の心と体に違いがあることを理解し、仲間のよさを認め合うとともに、仲間の心と体の状態に配慮しながら豊かに関わ合う楽しさや大切さを体験することをねらいとしている。

また、「体の動きを高める運動」では、体力の必要性や体の動きを高めるための運動の行い方を理解するとともに、自己の課題を踏まえ、直接的に体力の向上をねらいとして運動を行うこととしており、その運動の内容については、(ア)体の柔らかさを高めるための運動(イ)巧みな動きを高めるための運動(ウ)力強い動きを高めるための運動(エ)動きを持続する能力を高めるための運動の4つで構成されている。体の柔らかさを高めるための運動では、徒手での運動と用具を用いた運動。巧みな動きを高めるための運動では、人や物の動き、場の状況に対応した運動。力強い動きを高めるための運動では、人や物の重さなどを用いた運動。動きを持続する能力を高めるための運動では、時間やコースを決めて行う全身運動が例として示されている。また、高学年では、その発達段階を鑑み、体の柔らかさ及び巧みな動きを高めるための運動に重点を置いて指導することが示されている。

#### (2) 児童の実態

事前のアンケート調査より、「体育が好き」「体育は楽しい」という児童の割合は、90%以上にのぼり、運動習慣の必要性を95%以上の児童が理解していた。一方で、学校の休み時間に外遊びをしている児童の割合は、65%程度に留まり、実際の運動習慣と必ずしも結び付いていないことが伺えた。「体づくり運動」に対しても80%以上の児童が「好き」と回答しているが、「得意」と回答している児童は57%程度と低い水準に留まった。しかし、他領域と比べると「得意」と答えた児童の割合は多いため、比較的自信をもって取り組んでいる領域と捉えることもできる。他領域につながる基本的な動き

が多く含まれている領域特性を踏まえ、丁寧に支援をしながら、児童の運動（技能）の習得を促し、さらに自信を高めることで、他領域の技能向上につなげていく必要がある。

休み時間の過ごし方では、積極的に体を動かす児童と室内で過ごす児童の二極化がみられる。また、その顔触れが固定化していることから、児童一人一人の運動に関する興味・関心や価値観は様々であり、外遊び等の運動習慣が定着しているとは言い難い。また、ゲームやスマートフォン等電子機器の普及、運動以外への興味・関心や選択肢の広がり、価値観の多様化により、家庭での過ごし方は変化してきている。遊びを通して自然に身に付く動きや基本的な運動感覚の未習得や運動経験の不足が危惧される。体育の授業においても、体を巧みに使いながら運動ができる児童と、動きにぎこちなさを感じる児童の差を強く感じる。また、疲れるとすぐに座ったり、ちょっとしたことで痛みを訴えたりする等、逞しさに欠ける部分も見られる。このような実態から、全員に運動の経験と活動量を保障できる小学校体育科の授業意義や担う役割は、大きいと言える。

昨年度の新体力テストの結果では、学校全体として、握力（筋力・力強さ）と長座体前屈（柔軟性・体の柔らかさ）は、全国並びに岩手県平均を上回ったものの、他の種目については、学年間、男女の差がみられ、体力評価の能力や運動特性がバランスよく身に付いているとは言い難い。また、本学年児童の結果では、反復横跳び（俊敏性・すばやさとタイミングのよさ）、50m走（スピード、すばやさ）と力強さ）、ソフトボール投げ（巧緻性と瞬発力、力強さとタイミングのよさ）が全国及び岩手県平均を下回っている状況にあり、課題に挙げられる。

### （３）研究テーマとの関わりと指導の工夫

本単元は、研究テーマ「愛好的態度の形成につながる『体づくり運動』の単元開発」の実現に向け、運動や体育に対する「愛好的態度」を形成するための「体づくり運動」の単元並びに授業のあり方を、その実践と成果から検証し、明らかにしていく。この体育や運動に対する「愛好的態度」は「よい体育授業」を通して形成されると考えられる。その「よい体育授業」について、高田（1972）は、自身の多くの実践に基づき①せいっぱいの運動②わざや力の伸び③なかよく学習④新しい発見の４つが必要であることを示している（高田４原則）。また、高橋（1989）やクルム（1992）が提唱する「体育の具体的目標の構造」において、体育における「情意目標」の達成は、体育の具体的目標である「技能、認識、社会的行動」の３つの目標が達成されることにより、その達成が図られる「方向目標」であることが示されている。そこで、本単元における「愛好的態度の形成」を「体育の具体的目標」である「技能、認識、社会的行動目標」の３つの目標達成と、それに伴い達成が図られる「情意目標」の達成並びに「よい体育授業（高田４原則）」の達成により検証することとした。

本単元の指導にあたっては、「学習指導要領解説体育編」第５学年及び第６学年の目標を受け、「体を動かす楽しさや心地よさを味わわせたり、多様な運動や動きの経験を積み重ねたりすること。体を巧みに動かすための基礎的・基本的運動感覚をバランスよく習得すること。仲間と力を合わせて課題を解決することで達成感を味わわせること等」を重視することで、「愛好的態度」の形成につなげることを意図する。一人一人に「体を動かす楽しさ」、「できる喜び」を実感させることが、学習に対する意欲を高め、運動へのさらなる主体的取組や挑戦につながるようにしていきたい。

動きが高まったかどうかを判断する評価や見取りについては、ルーブリックを活用する。単位時間の後半部分に、「スキルアップタイム」を設定し、ルーブリックを活用しながら、主体的かつ目的的に運動に取り組ませる。難易度が段階的にレベルアップする評価指標を共有し、達成していくことは、学習への明確な見通しや動きの質の高まりにつながる。また、明確なルーブリックにより、見る視点や評価の観点が定まることは、運動の見取りや判断が可能になるとともに、児童主体の「学び合い・教え合い・励まし合い・認め合い」の活性化につながる。教師も「何ができていて、何ができていないのか」、「つまづきはどこで、できるようになるためにはどうすればよいのか」を捉えることができ、具体的な声掛けやフィードバックが可能になる。また、ルーブリックを基に、ペアやグループで運動や動きを見合い、「コツ」を発見したり、運動のポイントを伝え合ったりしながら、動きを高めていく一連の学びの過程は、「主体的・対話的で深い学び」の実現や「する・見る・支える・知る」といった体育科の「見方・考え方」を育成することとも合致する。なお、学習指導要領には、「運動が苦手な児

童への配慮の例」並びに「運動に意欲的でない児童への配慮の例」が示されており、運動の得意、不得意を超えて、全ての子どもたちに「運動の楽しさ」や「心地よさ」を味わわせる授業づくりも求められる。一人一人のつまづきを的確に捉え、適切なアドバイスやフィードバックを伝えながら、丁寧な補助・支援を行っていくことや、グループで力を合わせた運動達成から大きな充実感や達成感を味わわせることがポイントとなる。こうした実態にあった指導を行うことを通して、多くの児童に体育や運動に対する「愛好的態度」を育んでいきたい。

また、教材と場の設定の組み合わせを大切に、単元や1単位時間のデザインを工夫する。どのような場で、どのような運動ができるのかを知り、運動のバリエーションやレパートリーを増やすこと。子どもたちが興味・関心を持ち、日常の遊びに生かせる運動を積極的かつ意図的に取り上げることは、運動の日常化につながる。取り組んだ運動を「スーパー風っ子（兄弟学級遊び）」の内容に加えさせることも想定しながら、運動習慣の形成を促進する。

以上、授業においては、学習指導要領が示す「体育科の目標」、「体づくり運動の目標」、「主体的・対話的で深い学び」の具現化を考慮しながら、「高田4原則」並びに「体育の具体的目標（技能、認識、社会的行動）」の達成を図ることを通して、一人一人に運動の楽しさやできる喜びを実感させ、運動に親しむ資質・能力を育成し、体育・運動に対する「愛好的態度」の形成につなげていく。そのために留意する視点を以下5点に示す。

#### ①「技能目標」の達成について（ルーブリック）

- ・動きの変化や、人数・回数・時間等、ちょっとした条件の変化により難易度を調整することで、主体的な取組の中で、楽しさを感じながら繰り返し、基礎的・基本的な運動感覚が身に付けられるようにする。
- ・明確なルーブリック（段階的な評価指標）を示し、共有することで、学習者自身に動きの高まりを実感させる。
- ・「今、行っている運動が、どのような力や能力を身に付けるための運動なのか」運動の目的と効果の明確化を図る。

※客観的評価指標として、「形成的授業評価、診断的・総括的評価」を用いる。

#### ②「認識目標」の達成について（学習ノート）

- ・ルーブリックの観点に合わせ、ペアやグループで運動や動きの達成状況を見取ったり、「コツ」やポイントを教え合ったりする協働的な学習を行わせる。また、「どこ（何）に気を付けるとその動きや運動がでできるようになりそうか。」自分自身で捉えた身体感覚や方法知を言語化させ、体育ノートに記入させる。
- ・全体で1つの動きについて考えたり、大切なコツやポイントを共有したり、価値付けたりする等、動きの質、学びの質を高める活動を効果的に取り入れる。
- ・協働的な学習を通して、体育には、「する・みる・支える・知る」という多様な「見方・考え方」があることを知り、将来に向けて、運動への多様な選択肢や可能性を増やし、自分自身に合った豊かなスポーツライフを醸成する力を育む。

※客観的評価指標として、「形成的授業評価、診断的・総括的評価」を用いる。

#### ③「社会的行動目標」の達成について（交流や協働が必要となる運動の意図的設定）

- ・ペアやグループ、集団達成を中心とした運動課題を設定し、「関わり」の中で課題達成が図られ、達成感や喜びを味わうことができるよう単元をデザインする。

※客観的評価指標として、「形成的授業評価、診断的・総括的評価」を用いる。

#### ④「せいっぱいの運動」の達成について

- ・「これならできそう」と思える運動を多く取り入れる。現状の力で「繰り返し」運動に取り組ませながら、その動きの質を高めていく。

- ・教師の的確なマネジメントにより、児童の運動量を確保し、体を動かす心地よさ、基本的な動作や動きの習得、動作と動きの洗練化、できる喜び、体力の向上につなげる。
- ・単元や本時の流れ等、可視化できるものは可視化し、児童と共有する。また、体育ノートの使い方やループリックの活用の仕方等、必要な規則や規律をしっかりと理解させる。オリエンテーションの充実を図り、児童に見通しをもたせ、一定の流れで単元を展開し、運動量を確保する。
- ・岩手県教育委員会発行「子供の体力向上指導者の手引き」に示されている「よい授業の条件」の学習従事時間について、児童生徒一人一人の「運動学習場面」50%以上、「マネジメント場面」20%以下を目指す。

※客観的評価指標として「形成的授業評価・授業場面の期間記録法・歩数計による計測」を用いる。

#### ⑤学習意欲の醸成と運動の日常化について

- ・「もう一度やってみたい」、「続けてみたい」と思わせるような運動、日常の遊びに生かせる運動を意図的に取り入れ、運動の習慣化を促す。
- ・「学習意欲、思考、思い」の連続性と高まりを振り返り（メタ認知）により自覚させる。単元前と単元後の自己の意識の変容、個人内評価による「体力」の向上が自覚できる体育ノートを活用する。単位時間、単元全体を通した自己の変容や成長の自覚が、運動に対する見方や考え方、取り組みに生かされるようにする。
- ・「場や空間と行う運動の組み合わせ」を重視した主教材を取り入れる。休み時間や放課後、家庭や地域における運動への実践を促し、運動の日常化・習慣化を図る。
- ・体力の向上が、肥満の予防や健康の増進、疾病の予防等、健康面にも大きく関係していることを理解させ、体育の学習の重要性や運動習慣形成の意義について、自分事として捉えさせる。

#### 4 単元の評価規準

| 知識・技能                                                                    | 思考・判断・表現                                                                        | 主体的に学習に取り組む態度                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 体づくり運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その特性に応じた基本的な運動（技能）を身に付けている。             | 自己やグループの運動の課題を見付け、その解決のための方法や活動、動きかたや身体の使い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。      | 体づくり運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動しようとしている。                                                                                                                        |
| ①体づくり運動で大切なキーワードや意識して身に付けたい力、能力について理解している。<br>②運動課題（ループリック）にある動きや運動ができる。 | ①気付きを交流し、動きを高め、よりよく運動するための動きかたや体の使い方の工夫を考えている。<br>②運動課題達成のコツやポイント、改善点を考え、書いている。 | ①体の動きを高める運動の行い方の見通しをもち、主体的に多様な課題に取り組もうとしている。<br>②約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたりしながら取り組もうとしている。<br>③場や用具の安全に留意したり、準備や後片付けを進んで行ったりしている。<br>④体づくり運動で身に付けた力や自身の伸び、学習に対する取組を振り返り、今後の体育の学習や日常の運動に対する意欲をもとうとしている。 |

## 6 本時の学習と指導（オリエンテーション1／6）

### （1）ねらい

運動の意義、「体づくり運動」で大切にしたいこと、身に付けたい力や能力を理解することができる。

【知識・運動（技能）】

### （2）展開

※授業前のアンケート並びに歩数計の説明は、事前指導にて実施する。

※教具の準備等は、その運動を行う際に行う。

※授業後の形成的授業評価の記入は、授業後の時間外に設定し記入を行う。

| 段階        | 学習活動等                                              | 指導の留意点（*）及び評価（□）                                                                                                                                                                                                  |
|-----------|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>7分  | 1 課題を把握する                                          | *健康状態、服装など運動できる状況を確認する。                                                                                                                                                                                           |
|           | 「体づくり運動」で大切にしたいことや身に付けたい力（能力）を理解しよう。               |                                                                                                                                                                                                                   |
| 展開<br>30分 | 2 「体づくり運動」及び単元・授業の流れ、学習の意義並びに本時の評価を理解する。           | *単元計画と授業の流れを可視化しながら、学習への見通しをもたせる。<br>*体づくり運動の意義や単元のねらい、ゴールを共有し、目的意識や必要感を醸成する。<br>*社会的背景、子どもたちの実態、健康面とも関連させながら、体力を高めることや動きの質を向上させることの意味や意義を捉えさせる。                                                                  |
|           | 3 運動の行い方を理解し、取り組む。<br>・パシュート走<br>・心を1つに<br>・シンクロ長縄 | *運動を通してその行い方を理解させ、運動量、よりよい動き、正しい動きを保障する。<br>例：追い越し→パシュート走<br>*グループで、観察する（みる）、声を掛け合わせるなど、「関わり」を意識させる。<br>*「気付き」「交流」のキーワードを意識させながら運動を行わせる。<br>例：心を1つに…教具の工夫（風船・体操棒）<br>*運動を工夫し、巧みに行っているグループの動きを全体に広げ、動きや運動の質を高めさせる。 |
| 終末<br>8分  | 4 体育ノートに記入する                                       | *体育ノートの記入の仕方を説明、確認する。<br>・体づくり運動で大切にしたいキーワードや意識して身に付けたい力、能力について理解している。 【ノート】                                                                                                                                      |
|           | 「体づくり運動」で大切にしたいことや意義を確認し、価値付ける。                    |                                                                                                                                                                                                                   |
|           | 5 まとめ                                              | *学習に取り組む意欲や単元ゴールの姿のイメージ等を発表させる。また、それらを全体で共有することで、主体的に学習に取り組む態度の醸成につなげる。                                                                                                                                           |
|           | 6 片付け                                              |                                                                                                                                                                                                                   |

## 6 本時の学習と指導（2／6）

### （1）ねらい

気付きを交流しながら、動きを高め、よりよく運動ができるようになる方法や工夫を考え、表現することができる。

【思考・判断・表現】

### （2）展開

| 段階        | 学習活動等                                                                                                                                           | 指導の留意点（＊）及び評価（□）                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>3分  | 1 前時の振り返りと課題の把握                                                                                                                                 | ＊健康状態，服装など運動できる状況を確認する。<br>＊前時の振り返りを活用し，本時の学習に対する主体的に取り組むを喚起する。                                                                                                                                                                                                |
|           | 気付きを交流し，よりよく運動ができるようになる方法や工夫を考えよう。                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 展開<br>38分 | 2 学習の流れと本時のゴール，評価を確認する。                                                                                                                         | ＊課題，学習の流れ，ゴール，評価の共有により，明確な目標をもち，主体的に学習に取り組ませる。                                                                                                                                                                                                                 |
|           | 3 運動に取り組む。<br><div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バッシュ走</li> <li>・あんたがたどこさ</li> <li>・Hip ホップ おにごっこ</li> <li>・シンクロ長縄</li> </ul> </div> | ＊運動課題を解決するための「動き方の工夫，体の使い方の工夫」に着目させ，運動感覚等への気付きを交流し，運動の実際につなげさせる。<br>＊一人一人やグループの動きを見取りながら，それぞれのつまずきに合わせたアドバイス，補助を行う。<br>＊よい動き，正しい動きについて，共通理解を図り，運動や動きの質が高まるよう展開する。<br>＊動きのよさ，がんばり等を認め，肯定的に関わることで，積極的な関わり，粘り強い反復練習を促す。また，見る視点を与え，児童同士で教え合いや学び合いをさせる等，肯定的な関わりを促す。 |
| 終末<br>4分  | 4 体育ノートを記入する                                                                                                                                    | ＊「うまくできた」，「うまくできなかった」理由やその時の身体的な気付き，工夫や改善方法について具体的に記述させることで，今後の運動（技能）の習得や定着につなげる。<br><div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気付きを交流し，動きを高め，よりよく運動するための動き方や体の使い方の工夫を考えている。【観察】</li> <li>・運動課題達成のコツやポイント，改善点を考え，書いている。【ノート】</li> </ul> </div>              |
|           | 5 まとめ<br><div>           (運動課題を達成するための記述を発表させ，価値付ける。)         </div>                                                                            | ＊よい気付き，見方・考え方を全体のものとして価値付けることで，今後の学習でもその見方・考え方を生かすことができるようにする。<br>＊休み時間で行う視点をもたせ，運動の日常化，習慣化につなげる。                                                                                                                                                              |
|           | 6 片付け                                                                                                                                           | <div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたりしながら取り組もうとしている。【ノート】</li> </ul> </div>                                                                                                                                             |

## 6 本時の学習と指導（3／6）

### （1）ねらい

「体の動きを高める運動」のねらいと行い方を理解し、運動（技能）の習得に向けて、主体的に運動に取り組むことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

### （2）展開

| 段階        | 学習活動等                                                                             | 指導の留意点（＊）及び評価（□）                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>3分  | 1 前時の振り返りと課題の把握                                                                   | ＊健康状態，服装など運動できる状況を確認する。<br>＊前時の振り返りを活用し，本時の学習に対する主体的に取り組むを喚起する。<br>＊課題を共有し，目的意識をもたせる。                                                                                                                                                                  |
|           | ループリックを理解し，運動課題に主体的に取り組もう。                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 展開<br>38分 | 2 学習の流れと本時のゴール，評価を確認する。                                                           | ＊課題，学習の流れ，ゴール，評価の共有により，明確な目標をもち，主体的に学習に取り組ませる。                                                                                                                                                                                                         |
|           | 3 課題を解決する<br>（1）運動に取り組む<br>・あんたがたどこさ<br>・オセロゲーム                                   | ＊一斉の形態で実施し，全員に一定程度の運動量や運動の質を保障するとともに，「体の柔らかさ・巧みな動き・力強い動き・動きを持続する能力」をバランスよく育むようにする。<br>＊プレイ性のある運動を通して，必要な運動感覚を身に付けさせる。                                                                                                                                  |
|           | （2）「スキル up タイム」の運動の行い方を理解し，運動に取り組む<br>・しなやかな身体<br>・桜城ストラック<br>・肋木スペシャリスト<br>・桜城の壁 | ＊ループリック，各運動の行い方を理解させ，スキル up タイムへの意欲を醸成する。<br>＊グループや友達同士で動きを見合いながら，課題達成のための改善点や工夫点をアドバイスし合うようにさせる。（言葉・動作・補助など）<br>＊正しく，安全に運動を行うことができているかを確認する。<br><br>・体の動きを高める運動の行い方の見通しをもち，主体的に多様な課題に取り組もうとしている。【観察】<br>・場や用具の安全に留意したり，準備や後片付けを進んでしようしたりしている。【観察・ノート】 |
| 終末<br>4分  | 4 体育ノートを記入する                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                        |
|           | 5 まとめ<br>（「スキル up タイム」に対する前向きな感想を表記し，まとめる。）                                       |                                                                                                                                                                                                                                                        |
|           | 6 片付け                                                                             | ＊前向きな気持ちや思い，「できるようになりたい」という期待感など，意欲や雰囲気，高まろうとする思いを学級（集団）のものにする。                                                                                                                                                                                        |

## 6 本時の学習と指導（4／6）

### （1）ねらい

気付きを交流しながら，運動課題の達成（体の柔らかさ・巧みな動き・力強い動き・動きを持続する能力を高めるため）の方法や工夫を考えることができる。【思考・判断・表現】

### （2）展開

| 段階        | 学習活動等                                                                                                                       | 指導の留意点（＊）及び評価（□）                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>3分  | 1 前時の振り返りと課題の把握                                                                                                             | ＊健康状態，服装など運動できる状況を確認する。<br>＊前時の振り返りを活用し，本時の学習に対する主体的に取り組むを喚起する。                                                                                                                                                                                                                                    |
|           | 気付きを交流し，ループリックを達成するための方法や工夫を考えよう。                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 展開<br>38分 | 2 学習の流れと本時のゴール，評価を確認する。                                                                                                     | ＊課題，学習の流れ，ゴール，評価の共有により，明確な目標をもち，主体的に学習に取り組ませる。                                                                                                                                                                                                                                                     |
|           | 3 課題を解決する<br>（1）運動に取り組む<br>・リズムジャンプ<br>・オセロゲーム<br><br>（2）「スキルup タイム」の運動に取り組む<br>・しなやかな身体<br>・桜城ストラック<br>・肋木スペシャリスト<br>・桜城の壁 | ＊一斉の形態で実施し，全員に一定程度の運動量や運動の質を保障するとともに，「巧みな動き・柔らかさ・力強さ・動きを持続する能力」をバランスよく育むようにする。<br>＊プレイ性のある運動を通して，必要な運動感覚を身に付けさせる。<br><br>＊グループや友達同士で動きを見合いながら，課題達成のための改善点や工夫点をアドバイスし合うようにさせる。（言葉・動作・補助など）<br>＊一人一人を見取りながら，個々のつまづきや挑戦している運動レベルに合わせて，適宜アドバイスや補助を行う。また，動きのよさ，伸び，がんばりを認める等，肯定的な関わりを通して，達成感を味わえるよう支援する。 |
| 終末<br>4分  | 4 体育ノートを記入する                                                                                                                | ＊「うまくできた」，「うまくできなかった」理由やその時の身体的な気付き，工夫や改善方法について具体的に記述させ，今後の運動（技能）の習得や定着につなげる。                                                                                                                                                                                                                      |
|           | 5 まとめ                                                                                                                       | <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           ・気付きを交流し，動きを高め，よりよく運動するための動き方や体の使い方の工夫を考えている。【観察】<br/>           ・運動課題達成のコツやポイント，改善点を考え，書いている。【ノート】         </div>                                                                                                                 |
|           | （運動課題を達成するための記述を発表させ，価値付ける。）                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|           | 6 片付け                                                                                                                       | ＊よい気付き，見方・考え方を価値付けることで，次時の学習における運動課題の達成につなげる。<br>＊行った運動の活用方法を考えさせ，運動の日常化，習慣化につなげる。                                                                                                                                                                                                                 |

## 6 本時の学習と指導（5／6）

### （1）ねらい

「体の柔らかさ・巧みな動き・力強い動き・動きを持続させる能力」を高めることができる。

【知識・技能】

### （2）展開

| 段階        | 学習活動等                                                                  | 指導の留意点（＊）及び評価（□）                                                                                                                                                                                                                |
|-----------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>3分  | 1 前時の振り返りと課題の把握                                                        | ＊健康状態，服装など運動できる状況を確認する。<br>＊前時の振り返りを活用し，本時の学習に対する主体的に取り組むを喚起する。                                                                                                                                                                 |
|           | 「体の柔らかさ・巧みな動き・力強い動き・動きを持続させる能力」を高めよう。                                  |                                                                                                                                                                                                                                 |
|           | 2 学習の流れと本時のゴール，評価を確認する。                                                | ＊課題，学習の流れ，ゴール，評価の共有により，明確な目標をもち，主体的に学習に取り組ませる。                                                                                                                                                                                  |
| 展開<br>38分 | 3 課題を解決する<br>(1) 運動に取り組む<br>・リズムジャンプ<br>・あんたがたどこさ<br>・7（セブン）ボールズ       | ＊一斉の形態で実施し，全員に一定程度の運動量や運動の質を保障するとともに，「巧みな動き・柔らかさ・力強さ・動きを持続する能力」をバランスよく育むようにする。<br>＊プレイ性のある運動を通して，必要な運動感覚を身に付けさせる。                                                                                                               |
|           | (2) 「スキルup タイム」の運動に取り組む<br>・しなやかな身体<br>・桜城ストラック<br>・肋木スペシャリスト<br>・桜城の壁 | ＊グループや友達同士で動きを見合いながら，課題達成のための改善点や工夫点をアドバイスし合うようにさせる。（言葉・動作・補助など）<br>＊一人一人を見取りながら，個々のつまずきや挑戦している運動レベルに合わせて，適宜アドバイス，補助を行う。また，動きのよさ，伸び，がんばりを認める等，肯定的な関わりを通して，達成感を味わえるよう支援する。<br><div>・運動課題（ループリック）にある動きや運動ができる。<br/>【観察・ノート】</div> |
| 終末<br>4分  | 4 体育ノートを記入する                                                           |                                                                                                                                                                                                                                 |
|           | 5 まとめ                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                 |
|           | (運動課題を達成するためのこつやポイントを発表させる。)                                           |                                                                                                                                                                                                                                 |
|           | 6 片付け                                                                  | ＊ループリックの達成状況を確認し，次時への見通しや意欲の醸成につなげる。<br>＊コツやポイントを共有し，単元最後の学習における運動課題の達成につなげる。                                                                                                                                                   |

## 6 本時の学習と指導（6／6）

### （1）ねらい

「体の柔らかさ・巧みな動き・力強い動き・動きを持続させる能力」を高めることができる。

【知識・技能】

「体づくり運動」で身に付けた力や伸び、学習に対する取組を振り返り、今後の体育の学習や日常の運動へ意欲をもつことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

### （2）展開

| 段階        | 学習活動等                                                                                                                               | 指導の留意点（＊）及び評価（□）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>3分  | 1 前時の振り返りと課題の把握                                                                                                                     | ＊健康状態、服装など運動できる状況を確認する。<br>＊今までの単元を振り返り、まとめの本時に主体的に取り組むように促す。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|           | 身に付けた力、高めた力を実感しながら運動に取り組み、「体づくり運動」のまとめをしよう。                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 展開<br>34分 | 2 学習の流れと本時のゴールを確認する。                                                                                                                | ＊課題、学習の流れ、ゴール、評価の共有により、明確な目標をもち、主体的に学習に取り組ませる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|           | 3 課題を解決する<br>（1）まとめの運動に取り組む<br>・桜城ストラック<br>・7（セブン）ボールズ<br><br>（2）「スキルup タイム」の運動に取り組む<br>・しなやかな身体<br>・桜城ストラック<br>・肋木スペシャリスト<br>・桜城の壁 | ＊一斉の形態で実施し、全員に一定程度の運動量や運動の質を保障するとともに、「巧みな動き・柔らかさ・力強さ・動きを持続する能力」をバランスよく育むようにする。<br>＊学習のまとめとして「総合力」を発揮する位置付けであることを確認し、目的意識を強くもたせて行わせる。<br>＊グループや友達同士で動きを見合いながら、課題達成のための改善点や工夫点をアドバイスし合うようにさせる。（言葉・動作・補助など）<br>＊一人一人を見取りながら、個々のつまづきや挑戦している運動レベルに合わせて、適宜アドバイス、補助を行う。また、動きのよさ、伸び、がんばりを認める等、肯定的な関わりを通して、達成感を味わえるよう支援する。<br>＊前時でまとめた一人一人が考えるわざの「コツ」を積極的に交流させ、技の習得につなげる。<br>・運動課題（ループリック）にある動きや運動ができる。 【観察】 |
| 終末<br>8分  | 4 体育ノートに記入する                                                                                                                        | ＊「体づくり運動」や運動自体の意義や価値について触れながら、単元のまとめを行う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|           | 5 まとめ<br><br>（まとめの記述を発表させ、「体づくり運動」で得た力や意義を価値付ける。）                                                                                   | 体づくり運動で身に付けた力や自身の伸び、学習に対する取組を振り返り、今後の体育の学習や日常の運動に対する意欲をもとうとしている。 【ノート】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|           | 6 片付け                                                                                                                               | ＊今後の体育の学習や運動の日常化、習慣化について触れ、その意義や意味を共有する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |